



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社京都ホテル 上場取引所 東
コード番号 9723 URL <https://www.kyotohotel.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 福永 法弘
問合せ先責任者（役職名） 取締役経理部長（氏名） 井手 章 (TEL)075(211)5111
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,933	29.1	878	—	772	—	760	—
2023年3月期第3四半期	5,369	68.2	△111	—	31	—	19	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	60.50	—	—	—
2023年3月期第3四半期	1.63	—	—	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,392	—	1,814	—	11.1	—
2023年3月期	16,078	—	1,094	—	6.8	—

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,814百万円 2023年3月期 1,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2023年3月期	—	—	—	0.00	0.00	—
2024年3月期	—	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	9,000	22.4	750	—	600	652.7	550	783.9	42.27	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2024年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	12,065,400株	2023年3月期	12,065,400株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	242株	2023年3月期	242株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	12,065,158株	2023年3月期3Q	12,065,170株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

種類株式の配当の状況

配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	40,000.00	40,000.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期(予想)				40,000.00	40,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 重要事象等の解消について	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の分類の引き下げに伴うサービス分野のリバウンド需要や、個人消費の増加などにより、景気は回復傾向にあります。しかしながらウクライナや中東情勢の長期化によるエネルギー・原材料価格高騰や供給面での制約の影響により、先行きは不透明な状況が続いております。

京都のホテル業界におきましても、国内旅行の活性化、訪日外国人観光客の増加や、飲食を伴う宴会の利用が増えつつあり、回復傾向にあります。

当社では引き続きお客様の安心安全を第一に考え、宿泊・宴会・レストランなど各ご利用に合わせた感染予防ガイドラインに沿って運営を行うとともに、ホテル従業員及び関連スタッフに対して感染予防対策を徹底し、お客様に安心してホテルをご利用いただける環境づくりに努めてまいりました。

営業面におきましては、全国旅行支援や訪日外国人観光客の増加などの後押しを受け、宿泊・レストランを中心に売上を拡大させました。宴会部門においても、飲食を伴う宴会の利用が増えてまいりました。一方で、本年は創業135周年にあたり、様々な企画やイベントを実施しております。加えて、エネルギー・原材料価格高騰に対応すべく販売価格見直しを行うなど、売上・利益の最大化に努めてまいりました。

また、今後の需要回復を見据えて国内外へのセールス活動を再開したほか、人員不足が深刻化する中、部署の垣根を越えた社内ヘルプ体制を強化するとともに、業務の効率化・省力化を図る取り組みにも注力いたしました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高6,933百万円(前年同期比1,563百万円増)、営業利益878百万円(前年同期は営業損失111百万円)、経常利益772百万円(前年同期比740百万円増)、四半期純利益760百万円(前年同期比740百万円増)となりました。

ホテルの部門別営業概況は次のとおりです。

(宿泊部門)

ホテルオークラ京都では、全国旅行支援や訪日外国人観光客の急激な増加等により、売上はコロナ禍前のインバウンド最盛期とほぼ同水準まで回復しております。特に海外からの旅行者が大幅に増加いたしました。

からすま京都ホテルでも、コロナ禍前の水準までほぼ回復しており、特に外国人団体客や修学旅行者による売上が好調に推移しております。

この結果、宿泊部門の売上高は2,841百万円(前年同期比858百万円増)となりました。

(宴会部門)

ホテルオークラ京都では、企業主催の周年祝賀会、叙勲祝賀会などの件数や人数の多い宴会の受注件数が増加傾向にあることや、当社主催のイベントも好調に推移いたしました。

からすま京都ホテルでも、宿泊同様に修学旅行等の需要が増加しており、売上は堅調に推移しております。

この結果、宴会部門の売上高は2,027百万円(前年同期比549百万円増)となりました。

(レストラン部門)

ホテルオークラ京都では、一部で営業制限を継続しているものの、特にbuffetレストラン「トップラウンジオリゾンテ」が好調で、堅調に売上を伸ばしております。

からすま京都ホテルでも、引き続き中国料理レストランのランチ営業が好調に推移し、売上が増加するなど、堅調に回復しております。

この結果、レストラン部門の売上高は1,667百万円(前年同期比128百万円増)となりました。

(その他部門)

テナント部門やホテルオークラ京都のフィットネスクラブなどの売上については、引き続き堅調に推移しております。

この結果、その他部門の売上高は397百万円(前年同期比26百万円増)となりました。

部門別の売上高及び構成比等は、以下のとおりです。

区分	当第3四半期累計期間 (自 2023年 4月 1日 至 2023年12月31日)		対前年同四半期 増減率(%)
	金額(千円)	構成比(%)	
宿泊部門	2,841,002	41.0	+43.3
宴会部門	2,027,046	29.2	+37.2
レストラン部門	1,667,673	24.1	+8.4
その他部門	397,547	5.7	+7.2
合計	6,933,270	100.0	+29.1

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ313百万円増加し、16,392百万円となりました。

負債は、前事業年度末に比べ406百万円減少し、14,577百万円となりました。

純資産は、前事業年度末に比べ720百万円増加し、1,814百万円となり、自己資本比率は11.1%となりました。

なお、当社は一定の業績回復を見込んでおり、当事業年度におきましては、必要不可欠なメンテナンス工事を含む設備投資を計画的に検討、実施することといたしました。また、金融機関との良好な関係のもと、資金確保を確実に実行いたします。

(3) 重要事象等の解消について

当社は、前事業年度において2019年3月期以来の当期純利益62百万円を計上し、4期ぶりの黒字決算となり、営業活動によるキャッシュ・フローも885百万円の獲得となりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症等の影響により、前事業年度を含む直近3期は営業損失を計上する結果となったため、第1四半期会計期間末においては、引き続き継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在していると認識しておりました。

第2四半期累計期間において、営業利益351百万円、四半期純利益271百万円を計上したこと、営業活動によるキャッシュ・フローも616百万円の獲得となり、加えて、前事業年度の有価証券報告書の「事業等のリスク」に記載した最重要課題への対応を着実に実行していること、また、第2四半期会計期間末において、短期借入金1,000百万円を長期借入金(2025年3月末の一括返済)に変更して借換える目途がたったこと(2023年10月に借換え実行)により、当面の資金繰りに懸念はなくなったものと判断いたしました。

したがって、第2四半期会計期間末において、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消したものと判断いたしました。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年5月10日に公表いたしました業績予想を修正しております。なお、詳細につきましては、本日(2024年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,305,746	3,056,888
売掛金	554,461	553,424
原材料及び貯蔵品	62,517	92,323
前払費用	44,165	35,741
その他	43,626	18,501
貸倒引当金	△378	△132
流動資産合計	3,010,140	3,756,748
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	7,711,471	7,306,029
構築物(純額)	15,443	14,409
機械装置及び運搬具(純額)	105,199	93,870
器具及び備品(純額)	190,074	167,890
土地	4,890,314	4,890,314
リース資産(純額)	27,199	26,847
有形固定資産合計	12,939,702	12,499,362
無形固定資産		
ソフトウェア	10,206	7,299
リース資産	7,986	6,111
電話加入権	4,284	4,197
商標権	54	16
無形固定資産合計	22,531	17,625
投資その他の資産		
投資有価証券	10,300	10,300
長期前払費用	8,746	6,666
前払年金費用	20,544	34,996
差入保証金	52,037	52,064
その他	14,630	14,630
投資その他の資産合計	106,258	118,657
固定資産合計	13,068,492	12,635,645
資産合計	16,078,632	16,392,393

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	128,739	214,023
短期借入金	1,000,000	-
1年内返済予定の長期借入金	448,000	448,000
リース債務	64,129	35,633
未払金	784,023	580,267
未払費用	78,242	126,886
未払法人税等	3,650	3,742
前受金	76,221	62,168
預り金	57,117	60,000
前受収益	43,782	61,981
賞与引当金	55,920	-
その他	27,660	36,554
流動負債合計	2,767,486	1,629,259
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	9,616,000	10,392,000
リース債務	24,686	16,738
長期末払金	46,988	7,193
長期預り保証金	521,928	520,584
繰延税金負債	7,088	12,073
固定負債合計	12,216,691	12,948,590
負債合計	14,984,177	14,577,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	25,000	25,000
その他資本剰余金	1,559,414	929,635
資本剰余金合計	1,584,414	954,635
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△589,778	760,089
利益剰余金合計	△589,778	760,089
自己株式	△180	△180
株主資本合計	1,094,455	1,814,544
純資産合計	1,094,455	1,814,544
負債純資産合計	16,078,632	16,392,393

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	5,369,822	6,933,270
売上原価	952,492	1,086,793
売上総利益	4,417,330	5,846,476
販売費及び一般管理費	4,528,684	4,968,283
営業利益又は営業損失(△)	△111,353	878,192
営業外収益		
補助金収入	248,856	2,499
利子補給金	11,780	7,534
受取手数料	2,216	2,439
基地局設置手数料	2,399	2,509
受取保険金	1,047	3,860
その他	6,230	3,874
営業外収益合計	272,531	22,717
営業外費用		
支払利息	120,456	120,758
支払手数料	7,228	7,228
その他	1,791	669
営業外費用合計	129,475	128,655
経常利益	31,702	772,254
特別損失		
固定資産除却損	3,353	3,436
特別損失合計	3,353	3,436
税引前四半期純利益	28,349	768,818
法人税、住民税及び事業税	3,743	3,743
法人税等調整額	4,978	4,985
法人税等合計	8,721	8,729
四半期純利益	19,627	760,089

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。